

<b>第 3 回 気候変動を踏まえた浸水対策検討部会</b>	
日 時	令和 5 年 8 月 24 日 (木) 14:00~15:00
開 催 場 所	横浜市役所 18 階共用会議室みなと 6, 7
出 席 者	森田部会長、石川専門委員 (Web 出席)、加藤委員
欠 席 者	—
開 催 形 態	公開
議 題	1 整備優先度について 2 その他
議 事	<p><b>開会</b></p> <p><b>1 環境創造局長挨拶</b>  ○遠藤環境創造局長 先日も大きな台風が日本を襲っている状況で、浸水対策の取組をしっかりと進めていかなければならないと痛感している。第 2 回検討部会で整備優先度をご議論いただき、各委員から市民の皆様にはわかりやすく伝えるという観点でご指摘いただいた。そのようなことを踏まえ、改めて本日説明させていただき、優先度の方向性を示していきたい。</p> <p><b>2 資料確認</b>  ○事務局 次第  資料 1 第 3 回気候変動を踏まえた浸水対策検討部会 説明資料</p> <p><b>3 議題</b>  <b>議 事 (資料の説明については省略)</b></p> <p><b>1 整備優先度について</b>  ○事務局 議題 1「第 3 回気候変動を踏まえた浸水対策検討部会 説明資料」を説明。  ○部会長 (P.17) 得点化のイメージ (得点化の結果) について、図の赤い丸で表示している 150 位前後の区域は、棒グラフでいうと、影響順位が 151 位付近のあたりか。  ○事務局 そのとおり。一般項目 (青色系統着色) だけで決まっている地区を示している。  ○部会長 同じく 151 位より少し上位にある青系の地区も、重点項目ではなく一般項目だけで上位の優先順位になっている理解で相違ないか。  ○事務局 そのとおり。  ○加藤委員 (P.17) 重点項目がないけれど、上位にある地区はどのように理解すればよいか。  ○事務局 (P.11) 浸水影響度の評価項目について、一般項目は日常的にどの程度人口や資産が存在しているのかを示す指標になる。それらの密度の高い地区も上位にあることから、重点項目だけではなく一般項目を含めて総合的に評価していると考えている。</p>

○加藤委員 承知した。鉄道駅は全て一律に評価しており、市の内部での判断ではそのような評価でもいいと思うが、同じ鉄道駅でもターミナル駅かどうかで、場合によって計画が国の補助要件に合致しない場合もあるかもしれない。その場合、市の単費を支出して平等に扱うような考え方でよいのか。

○事務局 鉄道駅は重点項目としては一律評価しているが、一般項目の中でどれだけ資産が集中しているかを評価できているため、自然に濃淡がついていると考えている。また、下水道浸水被害軽減総合事業などの国費の要件については、ターミナル駅に該当していなくても本市では国費の要件に該当するような制度になっている。そのため、例えばターミナル駅を含んでいなくても国費に大きな影響があるかについては、現段階では考えづらい。

○加藤委員 承知した。

○事務局 鉄道駅は157箇所あり、その差別化はしていないが、(P.19) 浸水リスク評価のマトリクス、浸水の影響度で見ると、鉄道駅がある地区はすべて1,500位(全体の1/4)までの4点に入っている。ただし20年を今後4年間ごとに区切って整理する具体的な整備地区の選定で鉄道駅をどのように評価するかは、考慮する点にはなるかもしれない。ただ現時点では、鉄道駅のある地区はすべて4点に該当しているため、問題ないと思っている。

○加藤委員 承知した。

○部会長 石川委員、何か意見はあるか。

○石川委員 (P.11) 要援護者施設は約1,600箇所あり内訳として、児童施設や高齢者施設、障害者施設があると思う。保育園を含めた児童施設は利便性の高いところに集中している。しかし、高齢者施設は利便性が低く全国的に土砂災害区域等の危険な区域にある場合が傾向としてある。要援護者施設として一括りにしているが、このように、児童施設と高齢者施設の立地条件が全く違うことを意見として共有する。最終的には全体的なバランスを見た判断があると思うが、要援護者施設はそれぞれ立地条件、規模、守るべきものも異なるため、整備すべき地区を個別に抽出する際には、留意した方がよい。

○事務局 承知した。今の検討状況をご説明すると、(P.20) 施設整備の優先度について、高齢者施設がある地区は4点に約7割強、残りの3割は3点以下に分布している状況である。前回の部会で議論したように、対策の実施地区は優先度を原則としつつ、3点以下も含め、緊急性を考慮して決定していく。

○石川委員 承知した。

○部会長 (P.11) 整備優先度の考え方について、一般項目と重点項目で分けて点数化しており結果的に重みがある地区とない地区があるが、考える人によって重要視される項目や重みの差などが違うため、地区を選定した理由を合理的に決定し明確化することが困難である。そのため、ご説明頂いた内容で総合的な評価で優先度の設定をしたと理解した。委員のみなさまがご自身の専門分野で懸念されている部分については、実際に整備する際に効率性と緊急性を考慮するという対応できると理解さ

れていると思う。

○加藤委員 鉄道駅はなぜ重要なのか。

○事務局 市民生活や都市機能の観点で重要である。

○加藤委員 住民生活の中で、特に通勤で鉄道駅が主に使われていること、周辺には社会経済があることが理由で、鉄道駅が重要であることを理解した。

○石川委員 政策的な部分もあり今後調整が入るかもしれないが、先ほどの意見は部会での共有を図る必要があると思いい見した。その他の意見は特になし。

○部会長 今回示した整備優先度の考え方については、部会として概ね了承とする。

## 2 その他

○部会長 議事の整備優先度の考え方についてはこれで終了となる。その他ご議題はあるか。

○事務局 事務局からはその他の議事は特になし。連絡事項として本日は整備優先度について改めて説明を行った。当初は第3回で終了する予定だったが、次回追加の部会を開催し浸水対策プラン（素案）を審議いただきたいと考えている。具体的な日程は今後調整させていただく。

閉会